

DIGITAL SIGNAGE SYSTEM



メディアプレーヤー

34 2000シリーズメディアプレーヤー

中央管理システム

36 2000シリーズ専用中央管理システム

ソフトウェア

39 2000シリーズ専用ソフトウェア

メディアプレーヤーやデジタルサイネージ用PC、中央管理ソフトウェアを使うことで、より効果的で効率的なデジタルサイネージの運用が可能になります。ネットワークを使った遠隔からのコンテンツ更新やスケジュールの配信、静止画・動画やHTML・RSSなど様々なコンテンツファイルの配信、複数台のメディアプレーヤーの集中管理などデジタルサイネージの幅が広がります。



2000シリーズ メディアプレーヤー

グローバルアクセスに対応し、遠隔からコンテンツやスケジュールの更新が可能。静止画・動画・HTML・RSSなど、様々なコンテンツファイルに対応し、CMSを使った集中管理システムの構築も可能。



拡張性に優れたメディアプレーヤー

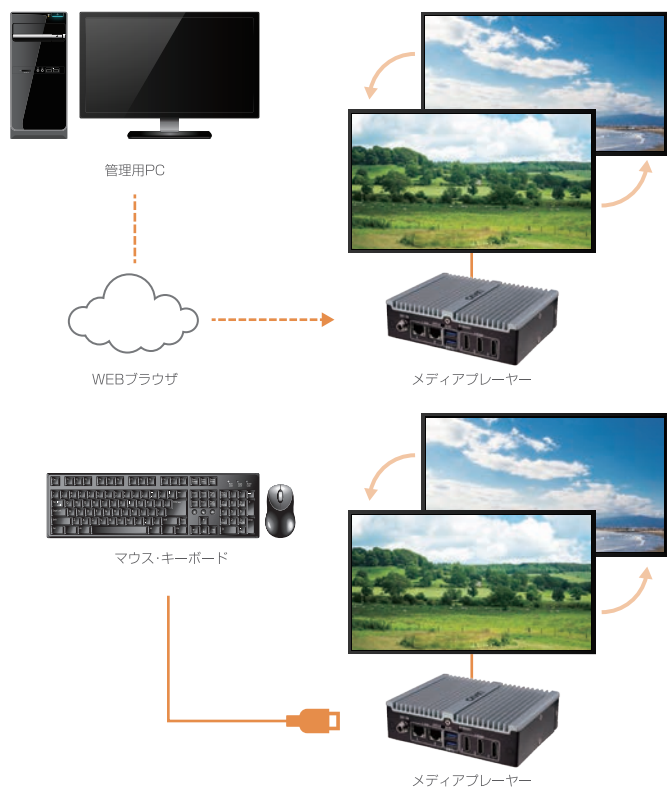
2000シリーズのメディアプレーヤーは、様々なコンテンツファイルに対応し、リッチなコンテンツの配信が可能です。中央管理サーバーに加え専用ソフトウェアによる様々な分析も可能です。



※オプションです。

ブラウザ経由、オフラインでのコンテンツを更新

2000シリーズのメディアプレーヤーは、PCからプレーヤーにブラウザでアクセスし、ネットワーク経由で更新することも、マウス・キーボードをプレーヤー本体に直接つないでオフラインで更新することも可能です。ネットワーク環境のない場所でもデジタルサイネージを配信できます。



様々な素材データを利用可能なダウンロードサービス

時計やスキン、プログラム、プレイリスト等のコンテンツ関連素材を無料の専用サイトからプレーヤーに直接ダウンロードできます。

スケジュール設定で効果的な情報配信

曜日毎、日毎、時間毎など、自由にコンテンツの配信スケジュールを設定することができます。ランチタイムやタイムセール、期間限定のCMなど、時間帯や期間に応じた効果的な情報配信が可能になります。その他にも、映像出力のオン/オフやシステム再起動、音量のスケジュールもプレーヤーから設定が可能です。

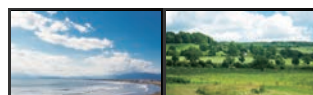


1台のプレーヤーで複数のディスプレイに同時出力

2系統のディスプレイ出力を搭載した2000シリーズメディアプレーヤーでは、2台のディスプレイに同時出力が可能です。独立出力、クロン出力、拡張出力の3つの出力モードに対応しています。

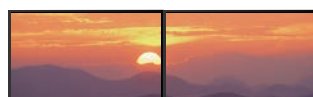
独立出力

2台のディスプレイを接続し、異なるコンテンツを表示します。



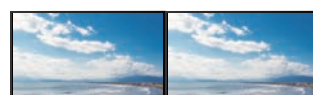
拡張出力

2台のディスプレイを接続し、1台の拡張ディスプレイとして表示します。



クロン出力

2台のディスプレイを接続し、同一コンテンツを表示します。



製品画像		
品 番		NSTB-2202-4K
システム仕様	オペレーティングシステム	組み込み型 Linux
	コンテンツソース	ローカルディスクまたはネットワークサーバー
	再生モード	スキン、プログラム、プレイリスト
	動画データ	コンテナ:MPEG、MPG、VOB、WMV、MP4、AVI 動画コーデック:MPEG2(1080p)、MPEG4(1080p)、WMV(1080p)、H.264(4K UHD)、H.265(4K UHD) 音声コーデック:MP3、WMA7/8
	静止画データ	JPEG、BMP、GIF
	プログラム/データ	URI(HTML5、JavaScript、Flash、RSS)、HTML、HTM、CSS、JS、SWF
	ビデオ解像度	最大3840×2160(4K・UltraHD@30Hz)、1080p×2画面 / 4K UHD×1画面
	ビデオビットレート	最大30Mbps:MPEG2(1080p)、MPEG4(1080p)、WMV(1080P)、H.264(1080p) 最大15Mbps:H.264(4K UHD)、H.265(4K UHD)
	ウェブページ	・ブラウザ:Firefox (v52.8 Linux build) ・ウェブ言語:HTML5、JavaScript および RSS/ATOM Feed 対応 ・プラグイン:Adobe® Flash® Player (V24、Linux build)、メディア プレーヤー(映像と音楽)、デロップ、画像スライドショー ・コンテンツ:HTML / Flashファイル、リモートURL
	再生能力	Skin Editor を使用することで、メディアプレーヤーやPCで直接テンプレートの作成が可能 画面構成:ビデオゾーン×2(ビデオ ファイル / ストリーミング / 音声)、HTMLゾーン×3、画像ゾーン×2、デロップゾーン×2、時計ゾーン×1、背景画像×1 コンテンツの連続再生可能時間:1日~数週間 ※ビットレートやコーデックに依存・スケジュール機能による定期再起動が必要
ハードウェア仕様	管理機能	ウェブ マネジャー(ウェブブラウザによるネットワークリモートアクセス制御) ・コンテンツの更新、スケジュール編集管理 ・ハードウェアモニター、ログ、システムの更新、システムの再起動とシャットダウン、構成設定情報のバックアップと復元 ・推奨ブラウザ:IE11またはそれ以降、Chrome71またはそれ以降、Firefox56またはそれ以降のバージョン
	ディスプレイ	・スクリーン解像度:640×480、800×600、1024×768、1152×864、1280×720 (720p)、1280×768、1280×1024、1360×768、1600×900、1600×1200、1680×1050、1920×1080、1920×1200、1920×1440、3840×2160(30Hz、単独/同一モード) ・単独モード、同一モード:ユーザー定義の解像度で垂直または水平4096ピクセルまでサポート ・拡張モード個別モード:ユーザー定義の解像度で垂直または水平2048ピクセルまでサポート ・縦型モード:90度と270度回転 ・2画面同時出力:単独モード、同一モード、拡張モード、個別モード ・スクリーン セーバー
	内蔵ストレージ	SSD 32GB(オプションにて最大256GB)
	CPU	Intel® Apollo Lake Dual-Coreプロセッサ
	ネットワーク	10/100/1000Mbpsイーサネット、802.11 b/g/n/acワイヤレス(オプション)
	ビデオ出力	HDMI×2
	音声出力	3.5mmステレオジャック、HDMI音声(デジタル)
	その他	RS232(COM)×1、USB(3.0)×3
	電源	100~240V AC (外部 AC 電源アダプター経由) DC 12V 3A
	外形寸法	136(幅)×101(奥行)×38(高さ) mm
希望小売価格	重量	0.9kg
	認可	CE、FCC、RoHS、CB、BSMI
	オープン価格	

NCMS-SE

→詳細は [P.36-38](#)

2000シリーズ専用中央管理システム

最大4,000台の集中管理に対応

2000シリーズ専用の中央管理システム(NCMS-SE)を使って最大4,000台までの2000シリーズメディアプレーヤーのコンテンツやスケジュール設定を集中管理することが可能です。

SuperReporter

→詳細は [P.39](#)

2000シリーズ専用レポート作成支援ソフトウェア



オプションの専用ソフトウェアでレポート作成

オプションの専用ソフトウェア SuperReporterでパフォーマンス分析や請求書作成を支援する運用レポートを作成することが可能です。

2000シリーズ専用 中央管理システム

小規模から大規模まで運用可能、最大4,000台のプレーヤーのコンテンツやスケジュールを効率的に管理。

2000シリーズの中央管理システム(NCMS-SE)は、小規模運用から大規模運用まで幅広い運用管理が可能です。必要な台数分のメディアプレーヤーのライセンスを取得することで、最大4,000台のメディアプレーヤーを集中管理することができます。コンテンツの管理やスケジュールの設定、配信状況の監視、緊急コンテンツの一括配信など、効率的に管理するための様々な機能が備わっています。設定管理用PCではメディアプレーヤーと同様、特別な専用ソフトウェアを必要とせず、ブラウザでCMSサーバーにアクセスするだけでご使用いただけます。また、別売の専用ソフトウェアを使用することで、運用レポートの作成も可能です。

小規模から大規模までクラウド上で効率的に管理

NCMS-SE(クラウドタイプ)はクラウド上で中央管理システムの構築が可能です。

数十台から数千台規模の大規模運用でもデータやスケジュールなどの設定を一括で更新でき、管理を効率的に行うことが可能です。

NCMS-SE導入のメリット

- サーバー実機を伴わないため比較的導入が容易(※1)
- ハード故障の危険性が低く、データの消失リスクを抑えることができる
- 小規模から大規模までのスケーラビリティに対応
- メディアプレーヤーの設置場所がローカルでもグローバルでも使用可能(※2)

※1 ご契約内容によっては一部機能に制限がかかります。

※2 固定IPサービスまたは代替サービスの利用を推奨、及びポート開放が必要です。

施設内での構築例

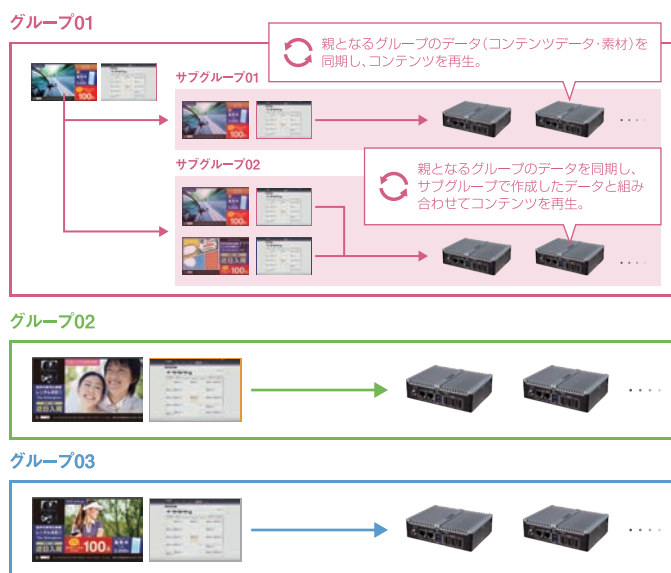
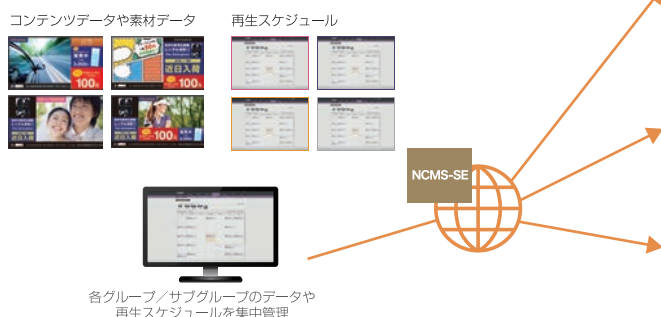


複数拠点での構築例



グループの細分化で、データやスケジュールを効率的に集中管理

中央管理システム(NCMS-SE)では、再生に必要なスケジュールやデータ(コンテンツデータ・素材データ)をグループ毎に一括更新することができます。また、グループにはサブグループを作成でき、親となるグループのデータを同期します。同期したデータでコンテンツを再生したり、サブグループで新たに作成したデータと組み合わせたコンテンツ再生が可能です。グループの細分化により、データやスケジュールを効率的に集中管理できます。



コンテンツの作成と集中管理

CMSからコンテンツの作成・保存が可能で、いつでも任意のプレーヤーに配信できます。配信したコンテンツはプレーヤー側にも保存され、CMS側の接続が切れてもプレーヤーの表示が止まることはありません。



異常時に警報を発信

メディアプレーヤーと中央管理サーバー間の接続が切断された異常デバイスを検出し、この異常状態を電子メールで直ちに複数のユーザーへ送信することができます。



コンテンツの再生状態をライブで監視

各メディアプレーヤーの更新を行いながら最新のプレイリストやコンテンツファイルをチェックできます。また、遠隔地にあるプレーヤーの実際のディスプレイ表示もプレビューできます。



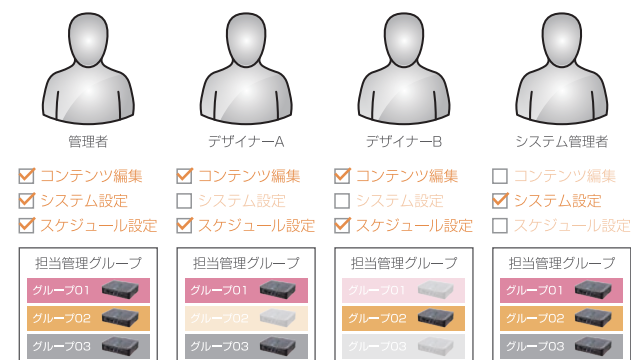
緊急コンテンツの配信

選択したグループに対して災害時に配信する緊急コンテンツや、タイムセール等の特定の時間に配信するコンテンツを一斉配信できます。スケジュールを無視して、すぐに配信可能です。



各アカウントに適切な管理権限を割り当て

ユーザー毎にアカウントを作成でき、CMSで設定したグループ毎に管理権限の割り当てを行えます。パスワードによる承認により安全な分散管理が可能になります。



オプションの専用ソフトウェアでレポート作成

オプションの専用ソフトウェアSuperReporterでパフォーマンス分析や請求書作成を支援する運用レポートを作成できます。

SuperReporter
レポート作成支援ソフトウェア



→詳細は P.39

品 番	NCMS-SE
運用タイプ	クラウド
ユーザーアカウント	無制限のユーザーアカウント作成。 各アカウントごとに異なるアクセス権を設定可能
メディアプレイヤー管理	・CMSがコントロールする全てのメディアプレイヤーの一覧をツリー表示 ・グループを作成して、メディアプレイヤーの管理や稼働状態をモニターが可能 ・ページあたり最大15台のメディアプレイヤーのスクリーンショットを確認可能 ・切断、接続、停止のイベント発生時に、警告通知を複数のユーザーにメールで送信
コンテンツの管理と更新	・CMSのWebManagerからファイルを更新 ・最大4000台のメディアプレイヤーのコンテンツを同時に更新可能 ・グループおよび集合(複数のグループを集めたもの)内にあるメディアプレイヤーを管理 ・各グループにメディアフォルダーを割り当て、グループ内のメディアプレイヤーが表示するコンテンツを同期
一括管理スケジューリング	・表示の方法: カレンダーまたはタイムテーブル ・スケジュール モード: 一回のみ、日ごと、週ごと、月ごと、年ごと、場所ごと ・再生スケジュール: タスク スケジュールを編集可能、さらにスキン再生モードのサブスケジュールでゾーンごと にタスクを編集可能 ・使用可能メディア: スキン、プログラム、プレイリスト、映像、画像、テロップ、HTML/Flash ・緊急メッセージ: スキンやプログラム、プレイリスト、映像、画像、HTML/Flash を使用して緊急メッセージの作成が可能
ネットワークプロトコル	IP、TCP、UDP、ICMP、HTTP、DHCP、SMB/CIFS、FTP
推奨ブラウザ	IE 11 またはそれ以降、Chrome 71 またはそれ以降、Firefox 56 またはそれ以降のバージョン
希望小売価格	オープン価格

※ご契約・運用形態によっては一部機能に制限がかかります。

2000シリーズ専用ソフトウェア

中央管理システム(NCMS-SE)とメディアプレーヤーの運用、管理、分析を支援する2000シリーズ専用ソフトウェア。
大規模なデジタルサイネージシステムの運用に関する高度なレポート作成を支援。

SuperReporter

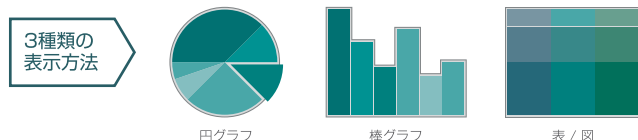
パフォーマンス分析や請求書作成を支援する運用レポートを作成

2000シリーズネットワークの運用に関する高度なレポートの作成を支援するマネージメントソフトウェアです。
ネットワーク接続された複数のメディアプレーヤーの再生状況とシステム状態をレポートします。



デジタルサイネージの運営レポートを簡単に自動作成

デジタルサイネージの運営者は、請求書の作成に必要な再生レポートを作成できます。また、ネットワーク管理者は、定期的なパフォーマンスレビューのレポートを作成できます。



プロジェクトの管理

複数のプロジェクトを同時に管理する

異なるデジタルサイネージネットワークを同時に管理し、プロジェクトごとにレポートを作成できます。地域や顧客、コンテンツ、ビジネスモデルなどのカテゴリー別にプレーヤーを管理することも可能です。

必要なときに必要なレポートを作成する

分析対象期間を設定するだけで、何時でもレポートを作成できます。

いろいろな角度から再生状態を分析する

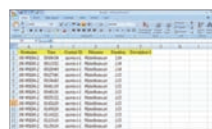
1日または1時間あたりの各コンテンツファイルの総再生回数と総再生時間をチェック可能な「時間ベースの比較」と、指定したコンテンツファイルの総再生回数と総再生時間をチェック可能な「ファイルベースの比較」の2つの方法で再生状態を比較できます。

レポートを2つのフォーマットでエクスポートする



HTML形式でエクスポート

HTML形式でエクスポートすると、統計データや図表をインターネット経由で共有できます。



Excel形式でエクスポート

Excel形式でエクスポートすると、独自の分析やレポート、図表などを作成する際に便利です。

レポートを自動および定期的に作成する

バッチファイルまたはWindows® Scheduled TasksをSuperReporter2と連携して使用すると、いろいろな種類の日次または週次レポートを自動的に作成して送信できます。作成したレポートを電子メールでマーケティング担当者に送信したり、作成したレポートをまとめて毎月1日にコンピュータに自動保存することなども可能です。

広告エージェンシー用のレポートを作成する

再生したコンテンツのソースを直ちに分類し、広告主またはコンテンツプロバイダー向けのレポートを作成できます。

製品画像	
品番	SuperReporter
オペレーティングシステム	Windows XP, Windows Vista, Windows 7, Windows 8, Windows 10
ディスプレイ解像度	1024×768またはそれ以上を推奨
プロセッサ	Intel® Pentium® 4 互換CPU またはそれ以降
メモリー	最小512MB、1024MBまたはそれ以上を推奨
HDD空き容量	プログラムおよび設定ファイル用に10MB、ログデータの保存用に20GB
備考	※操作画面は英語表示のみとなります
希望小売価格	オープン価格